

LOBO調査【全国商工会議所早期景気観測調査】

2021.5月速報 業況DIは感染拡大に伴う活動制約から足踏み。先行きは不透明感増す中厳しい見通し

全産業合計の業況DIは、▲25.0(前月比+0.3ポイント)。米国・中国などの海外経済の回復に伴い、需要増が続く半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業・卸売業が堅調に推移しました。一方、小売業では、緊急事態宣言に伴う活動制約・客足減少とともに、前年同月の買いただめ需要の喪失の影響を受けているとの声もあり、業況が悪化しています。また、宣言が発令されている地域以外においても活動縮小が発生し、外食・観光関連では業績改善への対応に苦慮している状況がうかがえます。このほか、原材料費上昇によるコスト増加が業種を問わず、広く業況の押し下げ要因となっており、中小企業の景況感は厳しい状況が続いています。※今回の業況DIは、比較対象の前年同月(2020年5月)が感染拡大により全国で緊急事態宣言が発令されていた時期(中旬以降に順次解除されました)であることに留意が必要です。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ▶改善 →ほぼ横ばい ▼悪化



建設業
防災・減災工事などの土木関連を中心とした公共工事が底堅く推移する一方、店舗・宿泊施設の新設・改修などの民間工事の低迷や木材・鉄鋼などの資材価格上昇の影響が続き、悪化。
・「防災・減災など土木工事を中心とした公共工事で売上を確保しているが、輸入木材や鉄鋼などの仕入価格の上昇が続き、採算は悪化した」一般工事業
・「民間工事の発注量減少により公共工事の入札事業者が増え、価格競争が激しくなっている」管工事業



製造業
中国・米国の経済回復に伴い、受注増が続く半導体・電子部品関連や自動車関連が全体を押し上げ、改善。ただし、鉄鋼をはじめとした原材料の仕入価格上昇による収益圧迫を指摘する声も聞かれた。
・「鉄鋼の仕入価格が上昇しているものの、主力であるサスペンションの海外からの引き合いが伸びており、売上は改善(自動車部品製造業)」
・「土産品の需要減少で売上は悪化。内食需要の高まりから、原材料である鶏卵の仕入価格が上昇しており、今後の採算悪化を懸念している」(菓子製造業)



卸売業
内食向けの飲食料品の売上が堅調に推移しているほか、半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業からの原材料・部品などの受注増が寄与し、改善。
・「前年同月は緊急事態宣言の影響で主要取引先である学校給食向けの受注が減少したが、今年は売上・採算ともに例年の約8割まで回復。B to C向けのネット販売を検討しており、今後の収益改善を図っていきたい」(飲食料品卸売業)
・「銅の仕入価格が上昇しているが、価格転嫁が追いつかず、採算は悪化」(鉱物金属材料卸売業)



小売業
緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響により、大型連休における都市部からの客足が減少し、悪化。また、買いただめ需要があった前年同月に比べて、飲食料品や日常消耗品などの売上が悪化したとの声も聞かれた。
・「前年同月は休業の期間があったが、今年は大型連休期間中も営業が可能であったため、売上は改善。ただし、首都圏などで発令された緊急事態宣言の影響により来店客数は例年より大幅に少ない状況が続いている」(百貨店)
・「食料品や生活用品を買いただめする消費者の増加に伴い売上が大幅に伸びた前年同月よりも売上は減少した」(スーパー)

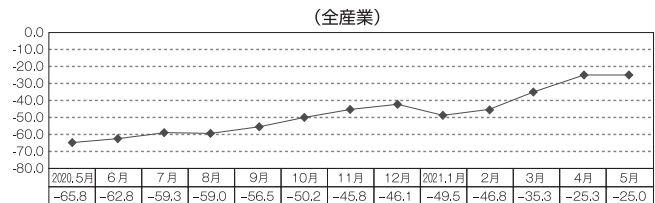


サービス業
コロナ禍で増加したデジタル投資の恩恵を受けたソフトウェア業が堅調な一方、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施を背景に、大型連休における客足が遠のいた娯楽施設や飲食・宿泊業が全体を押し下げ、ほぼ横ばい。
・「前年同月比では宴会場の利用率が増加したため、売上・採算ともに改善。ただし、飲食サービスを伴わない利用が多く、依然として業況は厳しい」(宿泊業)
・「コロナ禍で駅前駐車場の稼働率が大幅に低下しているほか、テナントの休業による家賃値下げ要求もあり、今後の売上回復が見通せない状況が続いている」(不動産賃貸業)

業況DIの推移

	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	見通し6~8月
全産業	▲46.1	▲49.5	▲46.8	▲35.3	▲25.3	▲25.0	▲33.6
建設業	▲26.9	▲27.1	▲24.9	▲18.4	▲15.5	▲18.9	▲28.9
製造業	▲53.4	▲48.5	▲44.8	▲33.6	▲24.1	▲15.0	▲20.9
卸売業	▲45.3	▲49.0	▲47.7	▲35.0	▲27.0	▲23.9	▲30.8
小売業	▲45.5	▲49.5	▲45.8	▲33.9	▲23.5	▲31.6	▲40.5
サービス業	▲53.0	▲64.7	▲63.0	▲48.5	▲33.5	▲33.5	▲44.6

※見通しは、当月に比べた向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2021年5月14日~20日

全国337商工会議所が2,679企業にヒアリング(東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答)

※DI値(景況判断指数)

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりや意味する。

県内企業倒産発生状況

件数・負債総額共に低調な域に止まる

〈令和3年5月概況と見通し〉

県内の経済概況評価は、県独自の緊急事態宣言が解除された事や、感染者の減少推移、県民対象旅行キャンペーン延長等を背景として制限自体がやや緩和されたものの、前月を継続しました。項目別では、前月に下方修正された個人消費や公共投資、前月に上方修正された生産及び設備投資を、当月は各々据え置きました。コロナ関連の公的支援等を背景に

倒産件数の急増は避けられていますが、県内景気は回復感に乏しく、6月20日まで延長された10都道府県の緊急事態宣言による当面の県内へのマイナス影響も予想されます。ワクチン接種の加速による経済活動の活性化に期待を寄せつつも、コロナの終息目途は依然として立っておらず、全体として短期的な業況改善は望みにくく、こうした状況が続けば、息切れ倒産が増える可能性も否定は出来ません。

山形県 月別倒産件数 負債額

	東南置賜		山形県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和3年5月	1	百万円40	1	百万円40
前月比(%)	100.0	29.9	33.3	14.5
前年同月比(%)	-	-	100.0	76.9

東南置賜…米沢・南陽・高島・川西

協力/東京商工リサーチ

